

～積み込みマニュアル～

☆積み込み準備

※※必ず全ての道具に記名する。積み込みは人をお願いすることもある為、誰が見てもわかるように書く。名前をきちんと書いていないと、正しく積み込まれないことがあります。

★ボード

トラッカーを3番にしておく。ダガーは外しておく。

1番上に積まれるボードの人は、準備は必要ない。1番上になる人は上回生優先で、当てはまる人には事前に連絡する。

フィンは、ネジが失くならないようしっかり奥まで回しておく。

★リグ

セイルはセイルバッグの中。

マストはセイルバッグから出して、2本をテープでまとめておく。この時テープに名前を書いておく。

エクステはフットを付けた状態で。エクステに付いてる黒のシャコシャコや銀のリングが失くならないよう、テープでとめておく。

ブームはアウトを0番にしておく。ショックコードを左右のハーネスラインに通してカポに引っかける。カポはカポっとしておく。アップホールラインはブームに巻きつけておく。

カニンガムはセイルバッグにくくりつける。

★道具箱

テープ、ドライバー、六角などのセッティング、リペア、積み込みに必要な物はかならず入れておく。無くて困るのは自分です。

☆ボードの積み方

1、キャリアがボードに接してしまうとボードが傷むので、キャリアにフワフワが付いていない場合はリバティを付ける。ぼこぼこしないように裏向きで。

2、ラゲージをキャリアにひっかける。

2、1枚目はテール側を前にして積み込む。

この時、ハの字ストラップが前キャリア上になるようにする。ノアなど、2列で積み込む

時にボードの内側同士が当たってしまうとボードが割れる為、車の中のミラーや屋根上の線の位置を参考にしながら、真ん中より外側に置く。

3、キャリアの端に農ブを二つ折りにして挟む。

★4、2枚目は裏向きで、ノーズ側を前にして積み込む。この時の位置の基準は、ノーズについている●マークが1枚目のテールに被さるくらい。同立の子曰く、後ろ過ぎず前過ぎず、置いた時にぴったりとくる場所があるらしい。

1枚目と2枚目の間には、トラックの場所くらいにライジャケを挟む。

5、1枚目と同じ向き同じ場所くらいに3枚目を積み込む。この時もライジャケを挟む。

6、クルマの前・横にいる人に見てもらいながら積み込んだボードが歪んでないか、調整する。

7、ラゲージの片方の端をハの字ストラップに通して下に落とす。この時ねじれが無いように。落とした2本のラゲージの距離が離れ過ぎないように、キャリアに向けて真っ直ぐと下に落ちるように気をつける。

8、ボードが極度に動かないくらいまで仮止めする。

9、反対側も積み込む。

10、先に積み込んだ方から本締めする。ラゲージの金具がボードに当たらないように気をつける。

11、走行中緩まないように、うるさくないようにラゲージの端をキャリアにくくりつけるなどしてまとめる。

補足

ボードケースを使用してあるボードは2枚目に積み込む。この時上下のライジャケは必要無い。

プレミオに積めるのは3枚まで。

道具を積んでの移動中は、ラゲージのゆるみがないかこまめに確認する。

